

平成 25 年住宅・土地統計調査

— 岡谷市分の結果の概要 —

総住宅数は 23,600 戸、1 世帯あたりの住宅数は 1.25 戸

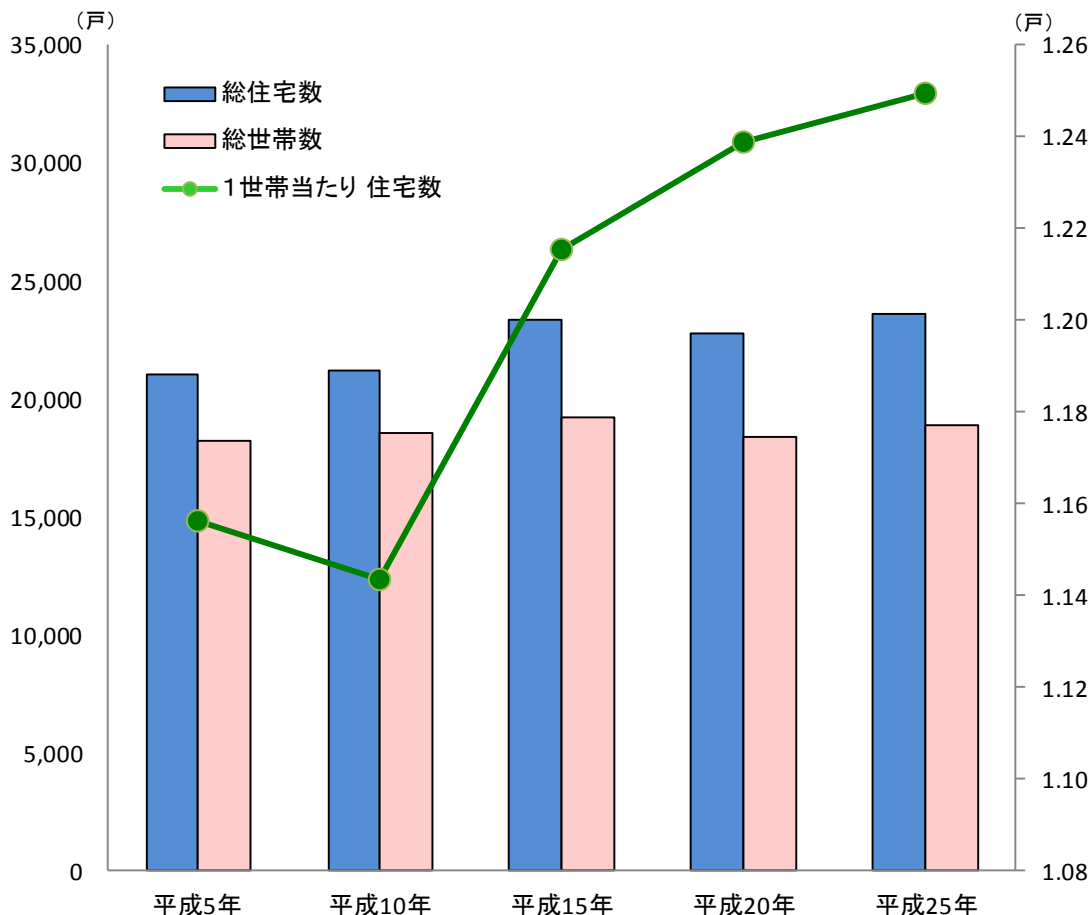
平成 25 年 10 月 1 日現在における岡谷市の総住宅数は、23,600 戸、総世帯数は 18,890 世帯となっています。平成 20 年と比べて、それぞれ 820 戸、500 世帯の増加となっています。また、平成 5 年の総住宅数（21,020 戸）と比べると、約 1.1 倍となっています。

平成 25 年は、総住宅数が総世帯数を 4,710 戸上回り、1 世帯あたりの住宅数（総住宅数÷総世帯数）は 1.25 戸となっています。

表 1. 総住宅数及び総世帯数の推移

年 別	総住宅数 戸	増減数 戸	増減率 %	総世帯数 世帯	増減数 世帯	増減率 %	1 世帯あたり 住宅数 戸
平成 5 年	21,020	-	-	18,180	-	-	1.16
10 年	21,210	190	0.9	18,550	370	2.0	1.14
15 年	23,370	2,160	10.2	19,230	680	3.7	1.22
20 年	22,780	△ 590	△ 2.5	18,390	△ 840	△ 4.4	1.24
25 年	23,600	820	3.6	18,890	500	2.7	1.25

図 1. 総住宅数及び総世帯数の推移



総住宅数の 18.9%が空き家

総住宅数のうち、居住世帯のある住宅は 18,890 戸で、総住宅数の 80.0%となり、空き家などの居住世帯のない住宅は 4,710 戸で、総住宅数の 20.0%となっています。

居住世帯のない住宅のうち、空き家についてその推移をみると、平成 5 年には 2,690 戸（総住宅数の 12.8%）でしたが、平成 25 年には 4,460 戸（同 18.9%）と増加しています。

表 2. 居住世帯の有無別住宅数の推移

年 別	総住宅数	居住 世帯あり 総 数	居 住 世 帯 な し			
			総 数	うち一時 現在者のみ	うち空き家	建築中
平成 5 年	21,020	18,180	2,840	80	2,690	70
10 年	21,210	18,550	2,660	80	2,520	60
15 年	23,370	19,230	4,140	90	3,930	120
20 年	22,780	18,390	4,390	110	4,220	60
25 年	23,600	18,890	4,710	190	4,460	60

図 2. 空き家の推移
(戸)

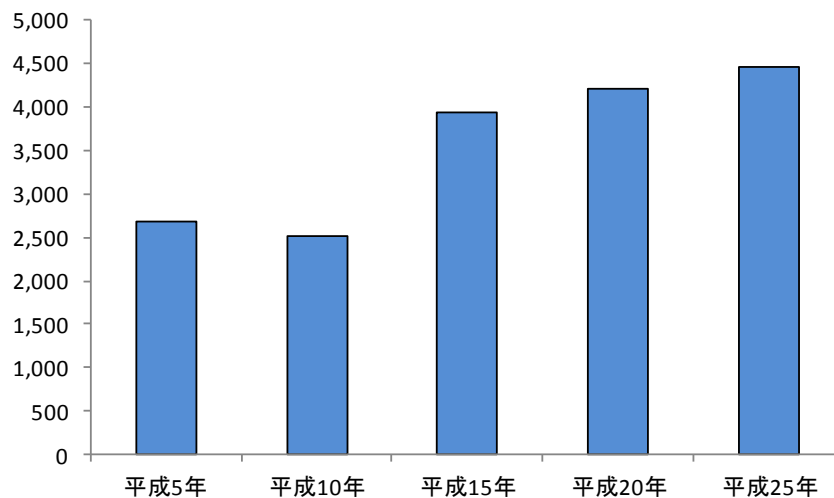
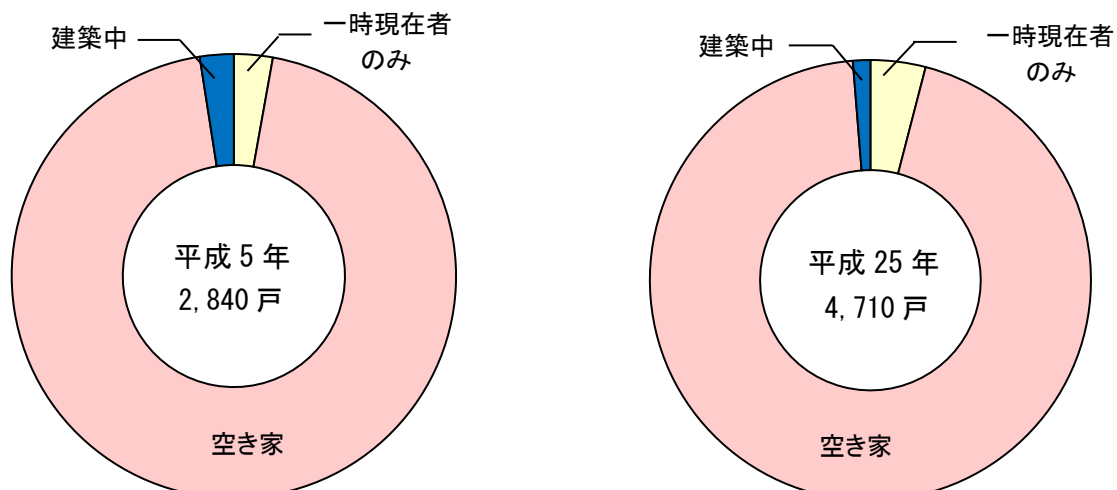


図 3. 居住世帯のない住宅の内訳（平成 5 年、平成 25 年）



「専用住宅」が住宅全体の 96.4%を占める

居住世帯のある住宅 18,890 戸を住宅の種類別にみると、居住専用に建築された「専用住宅」が 18,210 戸、居住部分が「店舗その他の併用住宅」が 680 戸となっており、専用住宅が住宅全体を占める割合（96.4%）が高くなっています。

一方、「店舗その他の併用住宅」（農林漁業併用住宅を含む）の占める割合は低下を続け、平成 25 年では 3.6%となっています。

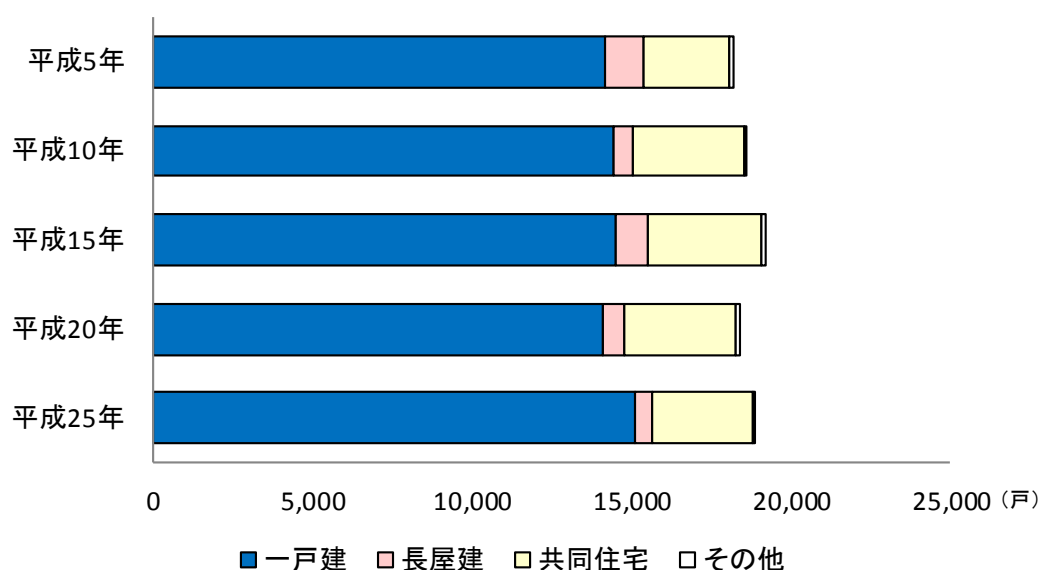
およそ 6 戸に 1 戸は共同住宅

居住世帯のある住宅を建て方別にみると、「一戸建」が 15,080 戸で住宅全体の 79.8%となり、「長屋建」が 550 戸で 2.9%、「共同住宅」が 3,170 戸で 16.8%となっています。

表 3. 住宅の建て方別住宅数の推移

年 別	住 宅 数 (戸)				
	総 数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
平成 5 年	18,180	14,150	1,250	2,690	80
10 年	18,550	14,450	580	3,490	30
15 年	19,230	14,480	1,040	3,550	150
20 年	18,390	14,110	660	3,480	140
25 年	18,890	15,080	550	3,170	80

図 4. 住宅の建て方別住宅数の推移



防火木造の割合が上昇

居住世帯のある住宅を構造別にみると、「木造」が3,360戸で住宅全体の17.8%、「防火木造」が11,800戸で62.5%、鉄筋・鉄骨コンクリート造等の「非木造」が3,730戸で19.7%となっています。

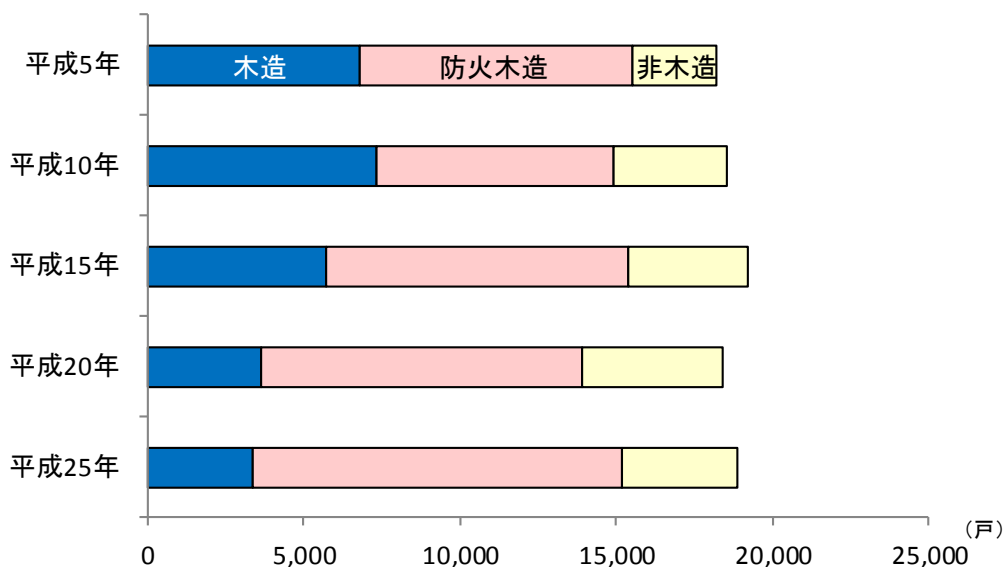
構造別割合の推移をみると、「木造」の割合が平成5年の37.2%から17.8%に低下した一方で、「防火木造」は48.0%から62.5%と上昇しています。

また、住宅の構造を建て方別にみると、「一戸建」住宅のうち、95.1%を木造（防火木造を含む）建築住宅が占めています。これに対し、「共同住宅」では木造（防火木造を含む）建築住宅では13.3%に過ぎず、鉄筋・鉄骨コンクリート造（鉄骨造を含む）が86.8%となっており、「共同住宅」の非木造化が進んでいることがわかります。

表 4. 構造別住宅数の推移

年 別	住 宅 数 (戸)			
	総数	木造	防火木造	非木造
平成 5 年	18,180	6,760	8,730	2,690
10 年	18,550	7,340	7,590	3,610
15 年	19,230	5,680	9,680	3,870
20 年	18,390	3,610	10,290	4,490
25 年	18,890	3,360	11,800	3,730

図 5. 住宅の建て方別住宅数の推移



持ち家住宅率は 77.2%

専用住宅数を所有の関係別にみると、「持ち家」が 14,060 戸で、住宅全体に占める持ち家の割合（持ち家住宅率）は 77.2%となり、「借家」が 3,990 戸で 21.9%となっています。

持ち家住宅率の推移については、平成 10 年に一度落ち込みましたが、その後再び上昇を続けています。

表 5. 住宅の所有の関係別住宅数の推移

年 別	住 宅 数 (戸)		
	総数	持ち家	借家
平成 5 年	17,160	12,040	5,120
10 年	17,610	12,240	5,370
15 年	18,080	12,720	4,940
20 年	17,640	12,900	4,680
25 年	18,210	14,060	3,990

（注）総数には、住宅の所有関係「不詳」を含む

図 6. 持ち家住宅率の割合の推移

